

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・高さの基準や水準測量に関する各種用語について、その意味と相互の関連をじっくり理解するとともに、作業に必要な会話ができる。 ・水準測量で使用する器械・器具の名称を覚えるとともに、その構造や取り扱い方、作業上の留意点について理解する。 ・昇降式・器高式の測定方法と野帳の記入方法の違いについて理解し、要領よく正確な計測と野帳の記入を習得する。 ・計測結果から高低差や標高などの計算を行い、測量誤差の原因とその除去の方法を理解する。 ・安全第一の作業のために実習室環境整備や器械・器具の整頓、正しい作業服の着こなしを習慣化する。 			
観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習の取り組み態度	実習に臨む心構え
評価規準 評価基準	水準測量に関する用語、観測方法の特徴と作業手順を理解し、測量機器を正しく使い、必要なデータを正確に野帳に記入することができる。また、計測結果から高低差や標高を計算することができる。	正確な測量のために各測点を適切に設定できる。また、計測結果から計算をまとめ、その良否や誤差の原因を分析する能力を身につけ、結果や思考をまとめた実習報告書を作成することができる。	器械・器具等を積極的に操作し、自らの疑問点を解決しながら、様々な作業に取り組むことができる。また、他者と協働し、より高い測定精度や迅速な測定のための創意工夫を行うことができる。	安全を第一に「学習のねらい」を理解しながら、実習室の清掃、器械・器具の整頓を心がけ、正しい服装で実習に取り組み、作業時間などの時間管理も行うことができる。
S 優れている	5点 測量機器を自ら正しく設置し、整準から視準までの一連の流れを正確にスピーディに行うことができる。また、必要なデータの取得、計算方法を理解し、率先して高低差等の計算を行うことができる。	5点 正確な測量を行うために、自ら各測点を設定し、他者に指示することができる。測定した結果をまとめながら、その良否を率先して分析し、誤差の原因等を考察し、改善策の提案ができる。	5点 器械・器具等への興味・関心が高く、測定のための知識や技能を自ら身につけようとする。また、率先して他者へ働きかけ、グループをリードし、創意工夫をしながら、測量を行うことができる。	5点 「学習のねらい」に沿った到達目標を理解し、実習室の環境整備、整頓を率先して行い、正しい服装の着用や残り時間などを他者に呼びかけ、安全な作業を周知することができる。
A よい	4点 測量機器を正しく設置し、整準から視準までの一連の流れを正確に行うことができる。また、必要なデータの取得、計算方法を理解し、高低差等の計算を行うことができる。	4点 正確な測量を行うために、各測点を設定することができる。結果を整然とまとめるとともに、測定誤差の原因等についての考察を加えることができる。	4点 器械・器具等への興味・関心が高く、測定のための知識や技能を身につけようとする。また、他者へ働きかけ、創意工夫をしながら、測量を行うことができる。	4点 「学習のねらい」に沿った到達目標を理解し、実習室の環境整備、整頓を率先して行い、正しい服装で実習に取り組みながら、残り時間を把握し、安全な作業を実践することができる。
B ふつう	2点 測量機器を正しく設置し、整準から視準までの一連の流れを行うことができる。また、必要なデータの取得、計算方法を指示されながら、高低差等を計算することができる。	2点 正確な測量を行うために、各測点の設定を認識することができる。結果を整然とまとめ、誤差の原因等を理解することができる。	2点 器械等への興味・関心が高く、測定のための知識や技能を身につけようとする。また、他者との協働により、創意工夫をした測量を行うことができる。	2点 指示された到達目標を理解し、実習室の環境整備、整頓を協力して行うとともに、正しい服装で実習に取り組み、安全な作業を心がけることができる。
C 努力を要する	1点 他者の助言を聞きながら、測量機器を設置し、整準から視準までの一連の流れを行うことができる。また、必要なデータの取得を指示されながら野帳にまとめることができる。	1点 正確な測量を行うために、指示を受けて、各測点を設定できる。結果をまとめ、誤差について知ることができる。	1点 他者の助言を聞きながら、測定のための知識や技能を身につけようとする。また、他者との協働により、測量を行うことができる。	1点 指示された到達目標を理解し、他者の声かけにより、実習室の環境整備、整頓を行うとともに、正しい服装で実習に取り組みようとする。
自己評価	理由	理由	理由	理由
相互評価	理由	理由	理由	理由

学習を振り返っての反省や感想等

指導者からの助言等